製造発売元：コイズミファニテック株式会社

保存用

TRB-1AI-LID

コイズミ学習デスク　組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習デスクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

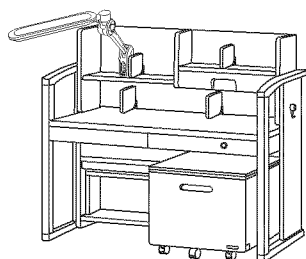
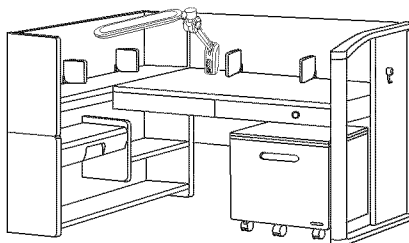
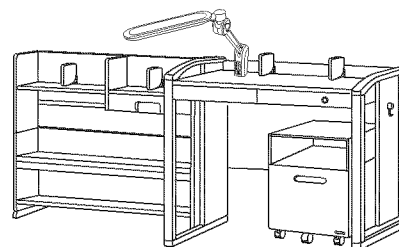
●この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立してください。
●事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立してください。
●使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
●組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立てていただくために、大切に保存してください。
●文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

取扱説明書のマークについて

●この説明書では下記のマークを付けて、お守りいただく内容を説明しています。
⚠気をつけていただきたい注意内容
⃠行ってはいけない禁止内容　❗必ず行っていただきたい指示内容
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は、大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

■組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3と、用途に応じて3種類のスタイルに組み立てることができます。
どのスタイルにするか決めてから組み立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。

●STEP1
（スタンダードスタイル）

●STEP2
（ユニットデスクスタイル）
※左右の組替えが可能です。

●STEP3
（セパレートスタイル）

●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

品番 LDF-737 NS　LDF-738 BS

必ず2人以上で作業を行ってください。

1 STEP1、STEP3の場合 ※1ページの組立てスタイルを決め、組み立ててください。

※STEP2 の場合 P4 から始めてください。

■デスク付属品

A ボルト(M6×35mm)	B ボルト(M6×50mm)	C ボルト(M6×70mm)	D 天板受けピン	E 連結ピン	F 回転金具	G ナットキャップ	H 挿しダボ
GKU4BU635	GKU4BU650	GKU4BU670	GKU8PN626	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9DC07V SZC7DC06R	SZCTTD850
×4	×2	×2	×4	×6	×6	×5	×2

I コード穴用フタ	J カギ	K カバンフック	L トラスボルト (M6X25mm)	M 穴埋めキャップ
TRB2*****	LTFTKD503	SZC9KF07V SZC9KF07R	GKU4BW625	SZC9AC18V SZC9AC18R
左右セット 1セット	1セット	×1	×1	×3

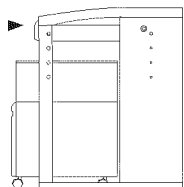
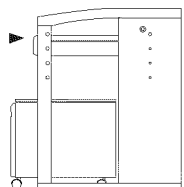
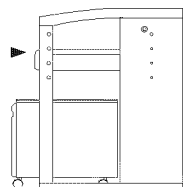
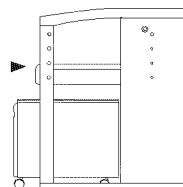
※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段が NS 色用、下段が BS 色用の部品品番となります。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。

⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

■組立ての前に（天板高さの目安）

※この商品は、お子様の成長に合わせて、天板の高さを4段階で調整することができます。
上図を参考に、天板の高さを決めてから組み立ててください。

身長 160cm～
天板高さ 73cm

身長 146cm～
天板高さ 67cm

身長 132cm～
天板高さ 61cm

身長 118cm～
天板高さ 55cm

●シェルフ下棚天板高さの決め方

※STEP2 の場合は、デスクとシェルフの高さが同じになるようにシェルフ天板の高さを組み替えてください。

デスクの組み立て

① 側板と背板の取り付け

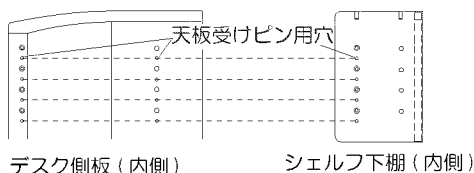
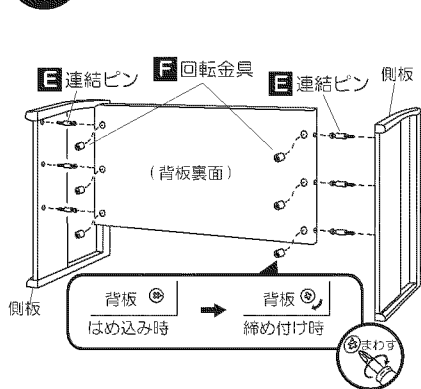
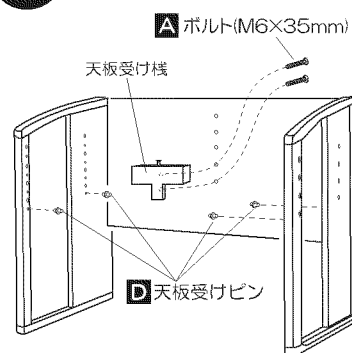
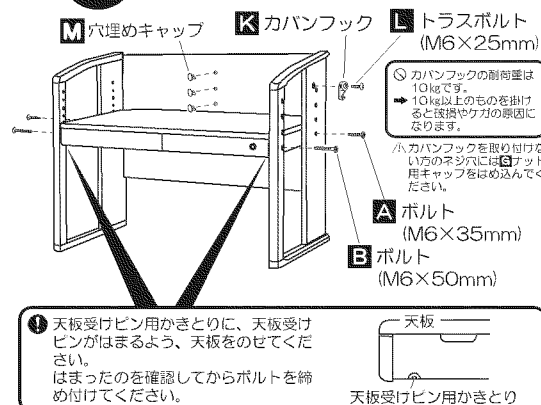
E 連結ピン
F 回転金具
E 連結ピン
側板
（背板裏面）
側板
背板 はめ込み時 ➡ 背板 締め付け時
まわす

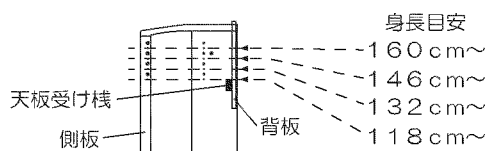
② 天板受け桟の取り付け

A ボルト(M6×35mm)
天板受け桟
D 天板受けピン

③ 天板の取り付け

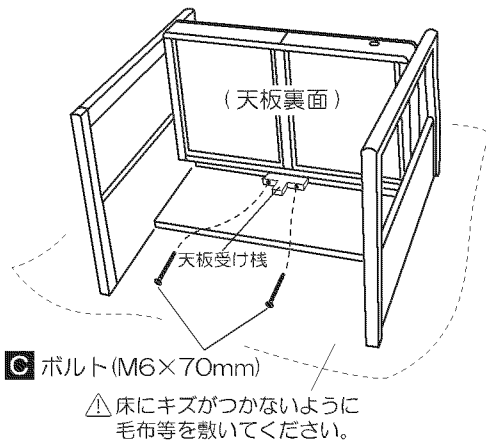
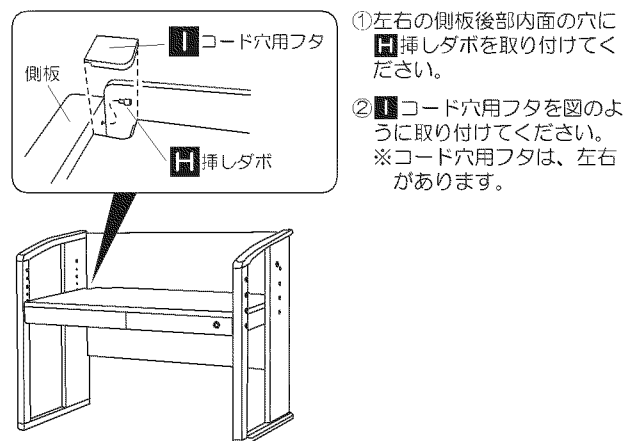
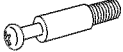
❗天板受けピン用かきとりに、天板受けピンがはまるよう、天板をのせてください。
はまったのを確認してからボルトを締め付けてください。

天板
天板受けピン用かきとり

■天板高さの決め方

図の目安を参考にして身長に合った高さの穴（側板）に、天板受けピンを差し込んでください。
また、背板の同じ段数のナットに、天板受け桟を取り付けてください。

④ 天板と天板受け桟との固定

⑤ コード穴用フタの取り付け

①左右の側板後部内面の穴に H 挿しダボを取り付けてください。

②I コード穴用フタを図のように取り付けてください。
※コード穴用フタは、左右があります。

シェルフの組み立て　STEP1(スタンダードスタイル)の場合

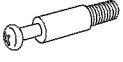
■シェルフ付属品

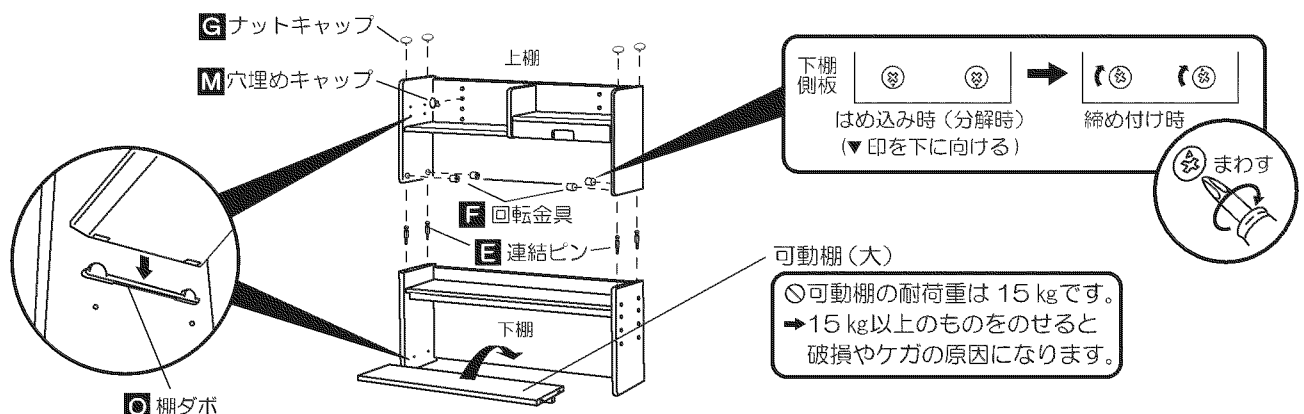
E 連結ピン	F 回転金具	G ナットキャップ	M 穴埋めキャップ	N ユニット連結ボルト	O 棚ダボ
SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9DC07V SZC7DC06R	SZC9AC18V SZC9AC18R	SZC1BA6LD	SZCTTD09G
×4	×8	×4	×12	×2	×6

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
キャップ類は、上段がNS色用、下段がBS色用の部品品番となります。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。

⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

⊘可動棚の耐荷重は15kgです。
➡15kg以上のものをのせると破損やケガの原因になります。

シェルフの組み立て　STEP3(セパレートスタイル)の場合

⊘可動棚の耐荷重は15kgです。
➡15kg以上のものをのせると破損やケガの原因になります。

2 STEP2の場合

■シェルフ付属品

E 連結ピン	F 回転金具	G ナットキャップ	M 穴埋めキャップ	N ユニット連結ボルト	O 棚ダボ
SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9DC07V SZC7DC06R	SZC9AC18V SZC9AC18R	SZC1BA6LD	SZCTTD09G
×4	×8	×4	×12	×2	×6

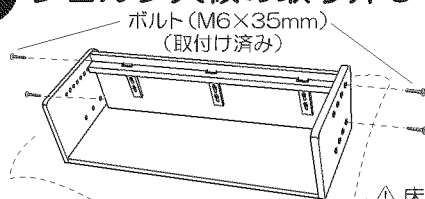
※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
キャップ類は、上段が NS 色用、下段が BS 色用の部品品番となります。

⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

シェルフの組み立て

1 シェルフ天板の取り外し

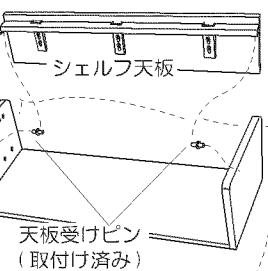
ボルト（M6×35mm）
（取付け済み）

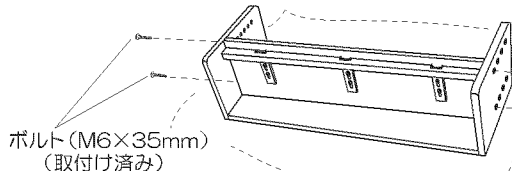
⚠床にキズがつかないように
毛布等を敷いてください。

2 天板受けピンとシェルフ天板の取り付け

天板受けピン用
かきとり

天板受けピン
（取付け済み）

シェルフ天板

天板受けピン
（取付け済み）

3 シェルフ天板の取り付け

※シェルフ天板の高さは、P2 の組立ての前に（天板高さの目安）をご参照ください。

ボルト（M6×35mm）
（取付け済み）

ボルト（M6×35mm）
（取付け済み）

⚠取り付けの際、ボルトが緩んでこないよう、
しっかりと固定してください。

4 シェルフ下台と上台との組み付け

下棚
側板

はめ込み時（分解時）
（▼印を下に向ける）

締め付け時

まわす

G ナットキャップ

下棚

F 回転金具

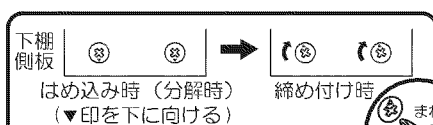
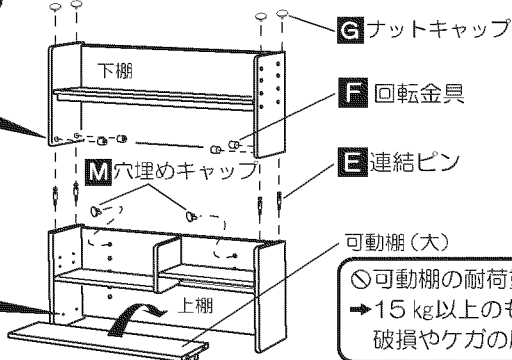
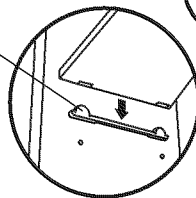
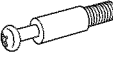
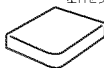
M 穴埋めキャップ

E 連結ピン

O 棚ダボ

可動棚（大）

上棚

⦸可動棚の耐荷重は 15 kgです。
➡15 kg以上のものをのせると
破損やケガの原因になります。

デスクの組み立て

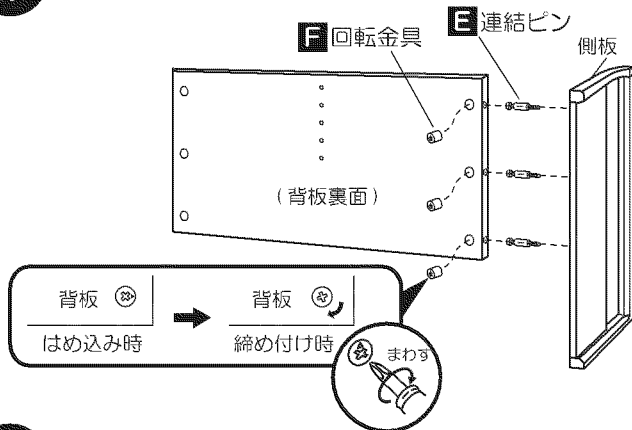
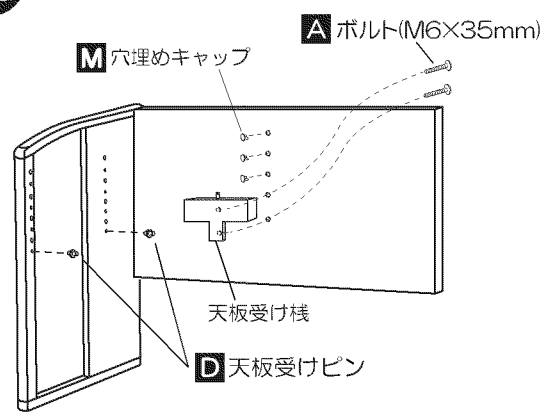
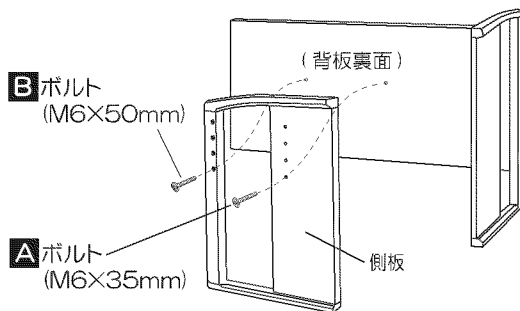
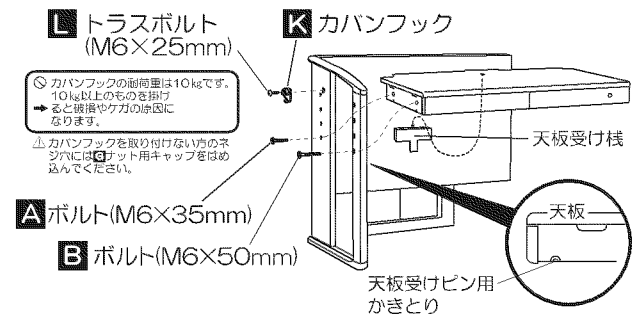
■デスク付属品

A ボルト(M6×35mm)	B ボルト(M6×50mm)	C ボルト(M6×70mm)	D 天板受けピン	E 連結ピン	F 回転金具	G ナットキャップ	H 挿しダボ
GKU4BU635	GKU4BU650	GKU4BU670	GKU8PN626	SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9DC07V SZC7DC06R	SZCTTD850
×4	×2	×2	×4	×6	×6	×5	×2

I コード穴用フタ	J カギ	K カバンフック	L トラスボルト (M6X25mm)	M 穴埋めキャップ
TRB2*****	LTFTK503	SZC9KF07V SZC9KF07R	GKU4BW625	SZC9AC18V SZC9AC18R
左右セット 1 セット	1 セット	×1	×1	×3

※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。（次ページの図）
右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
キャップ類は、上段が NS 色用、下段が BS 色用の部品品番となります。

① 背板と側板の取り付け

② 天板受け桟の背板への取り付け

③ 側板の背板裏面への収納方法

④ 天板と側板の取り付け

❗ 天板受けピン用かきとりに、天板受けピンがはまるよう天板をのせてください。はまったのを確認してからボルトを締めつけてください。

⑤ 天板受け桟の天板への固定

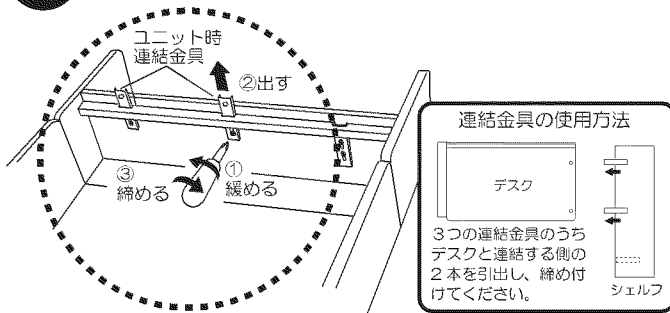
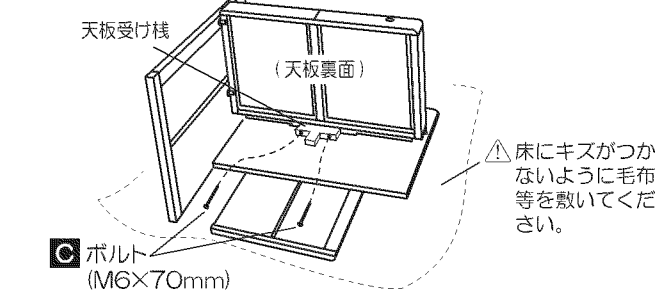
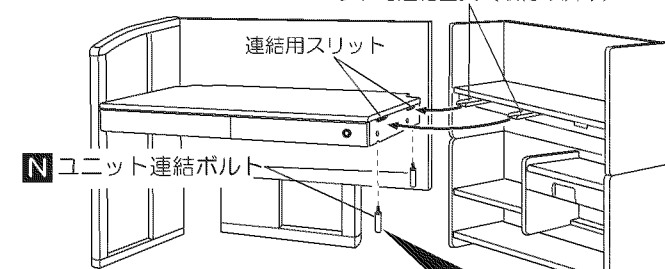
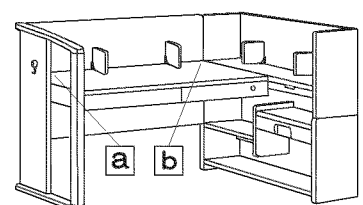
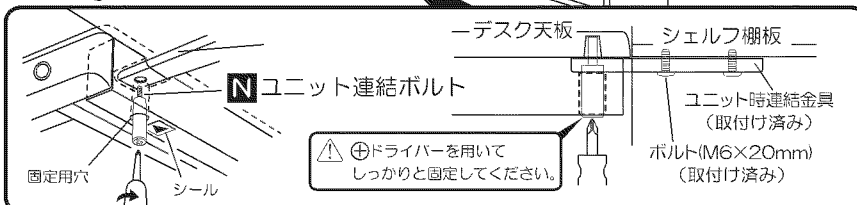
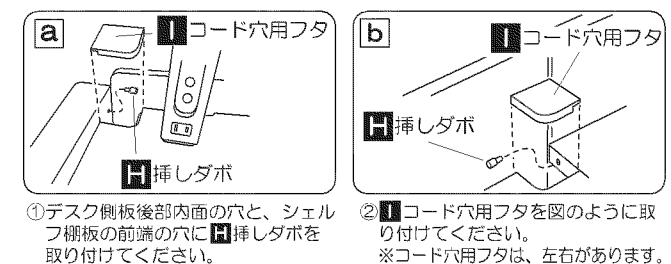
デスクとシェルフの組み付け

① 連結金具の調整

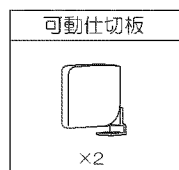
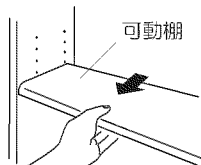
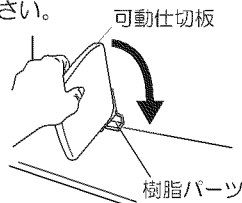
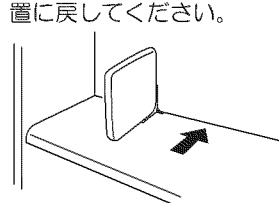
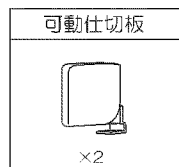
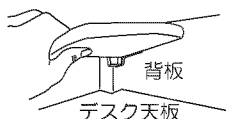
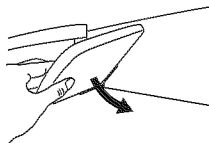
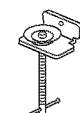
② デスクとシェルフの組み付け

③ コード穴用フタの取り付け

①デスク側板後部内面の穴と、シェルフ棚板の前端の穴に H 挿しダボを取り付けてください。

② I コード穴用フタを図のように取り付けてください。
※コード穴用フタは、左右があります。

3 可動仕切板の取付け方法

■可動棚への取付け方法

⚠可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。

❶ 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

❷ 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

❸ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

■デスク天板への取付け方法

❶ デスク天板の後角のかき取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。

❷ 差し込んだ状態で着脱可動仕切板を垂直におこして上固定棚にはめ込んでください。

❸ 横にスライドさせて使用してください。

4 照明器具の取付け方法

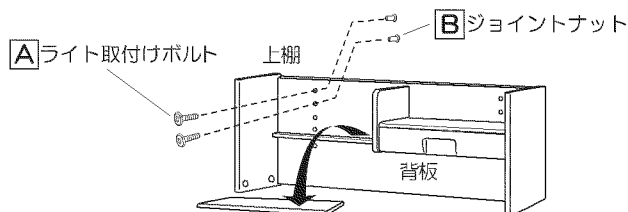
■ライト付属品

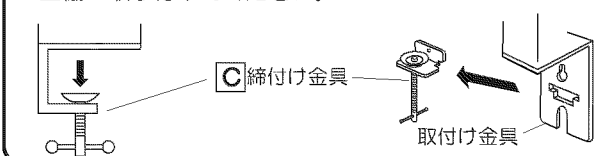
A ライト取付けボルト	B ジョイントナット	C 締付け金具
×2	×2	×1

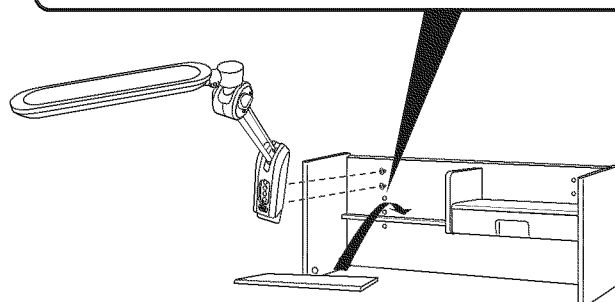
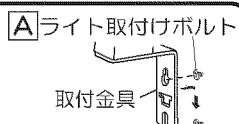
STEP1の場合

※ここでは、デスクの左側がライトになる場合の説明となっています。
右側に設置したい場合は、この図を反転させて組立ててください。

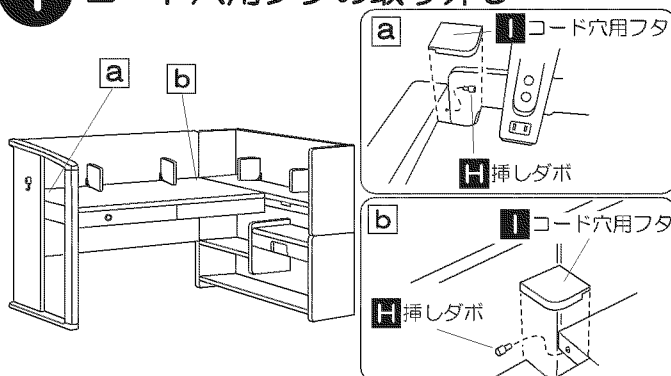
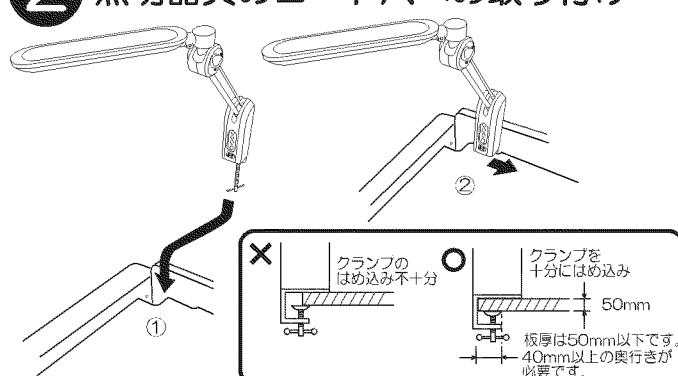
※上棚背板へのライトの取付位置は、4段階で付け替え可能です。
お好みの高さで、ライトを固定してください。

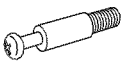
❶ ・上棚へのライト取付けボルトの仮り締め ・締付け金具の取り外し

A ライト取付けボルトと B ジョイントナットを２箇所仮締めしてください。

⚠締付け棒を完全に緩めて、取付け金具から取り外して、上棚へ取り付けてください。

❷ ・ライト取付けボルトの増し締め ・可動棚の取付け

❗ ①で仮締めしたボルトに、ライト取付金具を引掛けた後、ボルトを最後まで締め、ライトを固定してください。

STEP2、STEP3の場合

① コード穴用フタの取り外し

a b

② 照明器具のコード穴への取り付け

5 ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

① キャスターの取り付け

①地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。
②引出しの下のキャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。

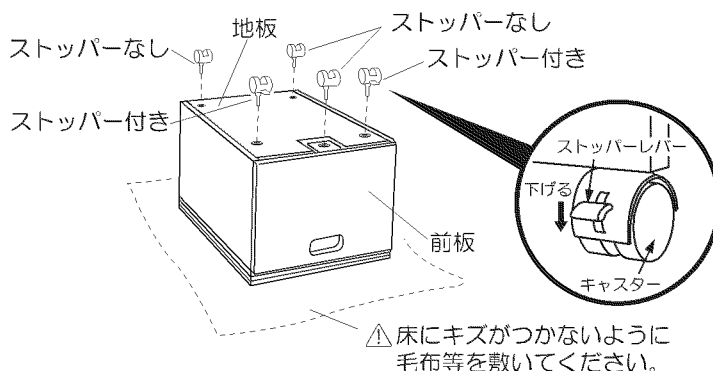
- ●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
- ●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

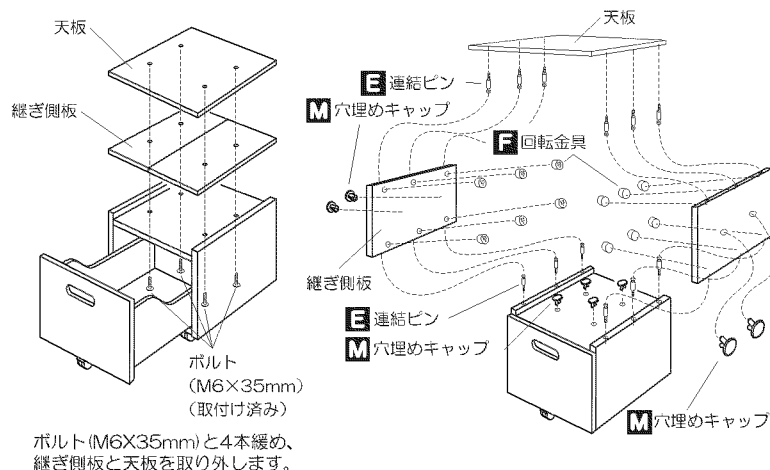
■ワゴン付属品

E 連結ピン	F 回転金具	M 穴埋めキャップ
SZC8MB605	SZC8MKN18	SZC9AC18V SZC9AC18R
×12	×12	×8
キャスター(5個入り) SZC9WC94G	引出し仕切板	⚠ キャスター1セットは、ストッパー付きが2個ストッパーなしが3個となります。
1セット	×2	

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップは、上段がNS色用、下段がBS色用の部品品番となります。

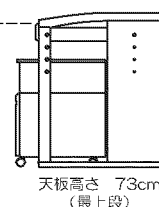
⚠床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

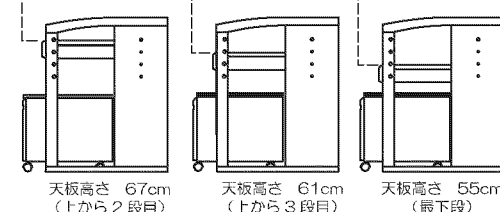
⚠小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
➡お子様が飲み込むことがあります。
⚠スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
➡部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

② ワゴンの高さを大きくしたいとき

■デスク天板高さが73cmの時、ワゴンを高くしデスク天板下に収納することができます。

ボルト(M6X35mm)と4本緩め、継ぎ側板と天板を取り外します。

ワゴンの分割についてのご注意

※デスク天板の高さを67cmと61cmと55cmにセットした場合は、ワゴンを低くしなければ、デスク下に収納することができません。

ワゴンを高くしてデスクに収納可能な天板の高さ

天板高さ 73cm
（最上段）

ワゴンを低くしてデスクに収納可能な天板の高さ

天板高さ 67cm
（上から２段目）

天板高さ 61cm
（上から３段目）

天板高さ 55cm
（最下段）

分解と組替え方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替えする場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。http://kagu.koizumi.co.jp/

コイズミ学習机保証書

＜無料修理規定＞

1.組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。

2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合

3.本書は日本国内においてのみ有効です。

4.本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	LDF-737 NS　LDF-738 BS （デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）
お客様	お名前
	ご住所 〒 電話番号（　　　）　　―
お買い上げ日	販売店名·住所·電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

（お願い）
お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号　TEL06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063　大阪市西成区南津守２丁目１番30号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。